

このまちの100年

「新橋・銀座」

明治5年に日本初の鉄道が開通した新橋。明治政府による煉瓦街の建設、ガス灯の設置、西洋料理店の開店など、先進的な街として進化した銀座。現在に至るまで、発展を続けています。



明治後期

TOKYO—SHINJUKU

橋新東京

東海道の起点が日本橋に移る際、現在の港区北東端に「新しい橋」が架けられた



大正期

二代目新橋駅の駅舎は煉瓦造りで、現在の汐留口側にあった



昭和初期

新橋芸者の技芸を披露する場として開業した新橋演舞場



昭和中期

東京都都市整備局提供

東京都の新橋駅前市街地改造事業によりニュー新橋ビルが開業した



昭和10年代

銀座の柳。当初欧米のような街路樹を目指すも土質に根付かず、湿地で育つ柳に植えかえられた



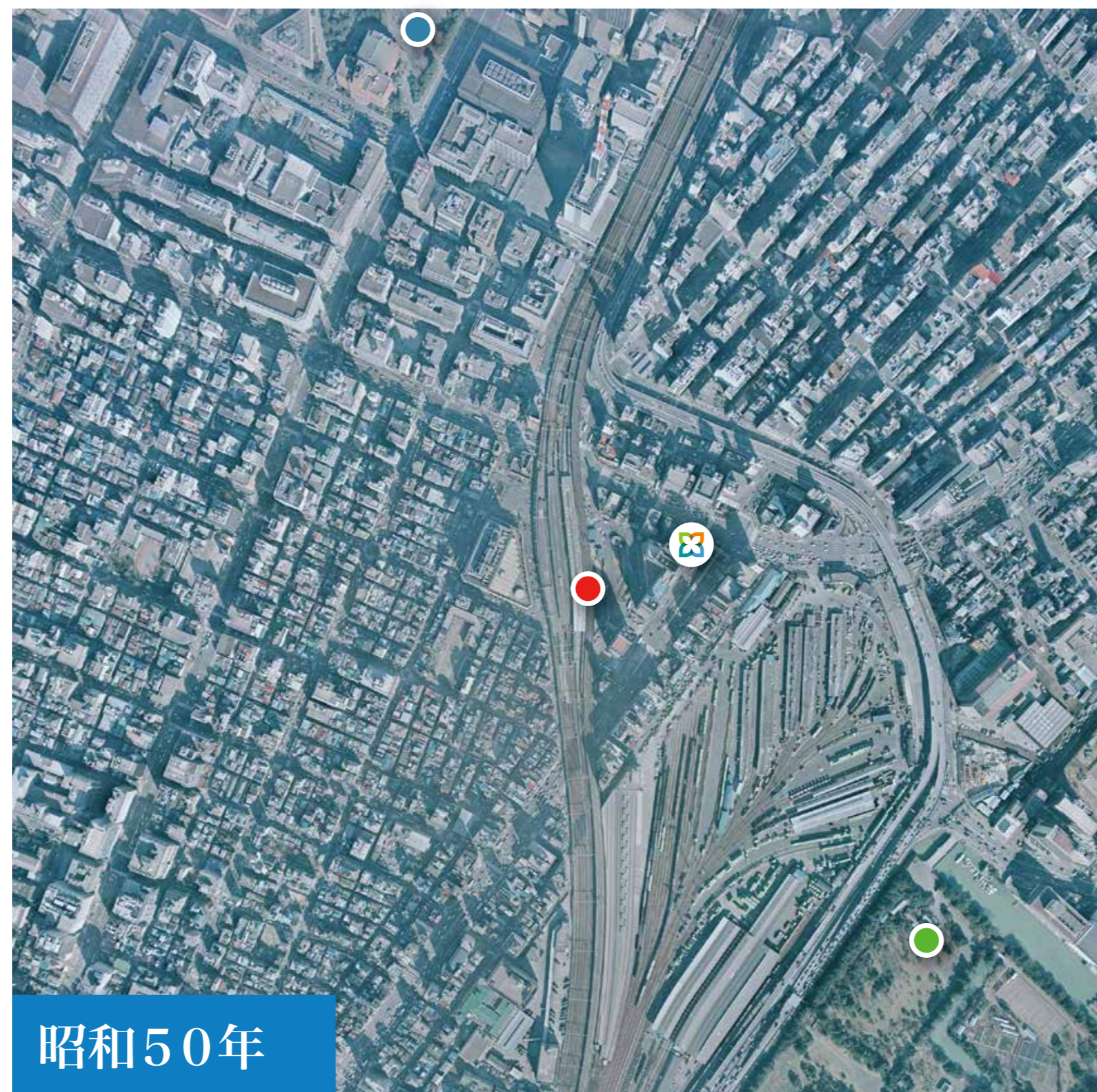
昭和30年代

高度経済成長期の銀座通り。時計塔のある建物は、昭和7年に服部時計店として竣工した、和光

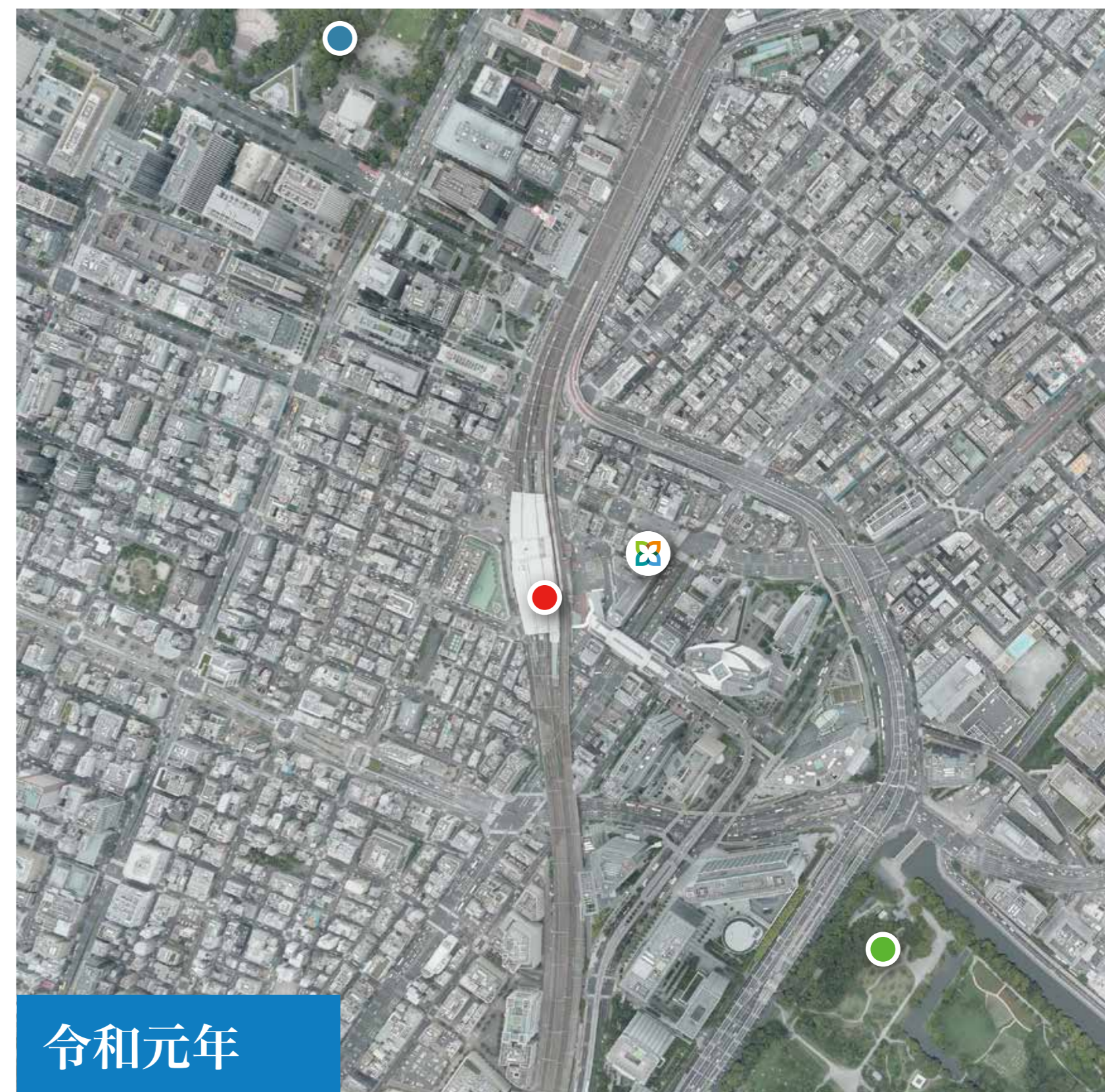
上空からみた新橋・銀座エリア



昭和11年



昭和50年



令和元年

● : 現在地
● : 日比谷公園 ● : 浜離宮／浜離宮恩賜庭園 ● : 新橋駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ